

## 魚津市新庁舎整備検討委員会 第5回会議 会議録（要旨）

### 【開催状況】

- 1 開催日時 令和5年11月28日（火）10：00～12：00
- 2 開催場所 魚津市役所2階 第1会議室
- 3 出席者
  - (1) 委員  
石川委員、浦田委員、大島委員、大野委員、木下委員、清水委員（会長）、西村委員、野澤委員、平田委員、山本委員、吉森委員
  - (2) 市  
副市長、総務部長、財政課長ほか事務局員
  - (3) コンサルタント  
株式会社 建設技術研究所
- 4 欠席者  
米澤委員

### 【関連資料】

- 資料1 魚津市新庁舎整備に関する市民アンケート調査結果（概要）
- 資料2 魚津市新庁舎整備に関する市民アンケート調査結果
- 資料3 新庁舎整備ワークショップの開催
- 資料4 新庁舎整備基本構想骨子（案）
- 資料5 公共施設再編方針の見直し（第1回魚津市行財政改革推進委員会資料）
- 資料6 新庁舎整備だより

### 【会議内容】

- 1 開会
- 2 議題
  - ・新庁舎整備に関する市民アンケート調査結果について
  - ・新庁舎整備ワークショップの開催について
  - ・新庁舎整備基本構想骨子（案）について
- 3 その他
  - ・「新庁舎整備だより」の発行について
- 4 次回の会議日程
- 5 閉会

## 【事務局】

資料1及び資料2について説明。

### A委員

事前にアンケートの調査結果を読んできましたが、市役所に来られる方の用件は、基本的には手続きか相談に集中しています。一方問題となっていることでよく目についた部分は駐車場です。私も今来たのですが、駐車場にたくさん車が停まっていて、市役所に用事があるって利用している方とそうでない方がいるのではないかと思います。

手続きや相談、駐車場のスペースという話になりますと、手続きの時間を短くすれば駐車場の回転率が上がりますので、オンライン化ないしは対面でやっている職員にオンラインの手続きの教育をすると良いと思いました。

一方、市役所に用事のない方が駐車するということがあるのであれば、ゲートをつくって市役所に用のない方については料金を徴収するという事は、アンケートの自由意見にもありましたので、検討してもいいと思います。

### B委員

私も事前に頂いた資料の中でアンケートには目を通しておりました、この集計結果にもあるように費用を心配しておられる意見も結構あったと思っています。入善町はその時補助金があり、ある割合のものは補助金を使い、市が単独で負担する部分は少なく済んでいますが、先般市のある方にお聞きしていると、今そのような補助制度はなさそうという話でしたが、本当にそうなのでしょうか。まだまだ建設に向けて時間もあると思いますので、防災機能等国に訴えるべきものはしっかりと訴え、市の財源的なことを考慮して負担を減らすという努力は財政課を中心にやっておられると思いますが、今の状況をお聞かせ下さい。

それと、新庁舎を建てる建てないという市民アンケートというのはこれが初めてだったのででしょうか。この2つについてお願いします。

### 事務局

まず、財源についてお答えします。庁舎を建てるための、いわゆる国からの補助金は現在はおそらくないのではないかと考えております。数年前でしたら、建てるために市が借金する時に有利な、お金を返していく際に国から支援がありましたが、今は直接的なものはありません。ただ、防災機能に関する部分については、いわゆる緊急防災・減災事業債という有利な起債を充てる余地はあると考えております。また、今後検討していくこととなりますが、公共施設を複合化した時にその複合化した部分について有利な起債というものもありますので、例えば健康センターと一緒にした時に、その健康センターの部分について、その面積を按分して、その分についてのみ有利な財源を活用する可能性はあると考えております。

市民アンケートに関しては今回が初めてでして、これまで新庁舎についてアンケートをとったことはありません。

#### 副市長

駐車場についても市も前々から検討はしております。ここに停めておられる方についても、例えば月曜日の朝等に管理の人を置いておくと急に台数が減るといふこともありますし、飲食店に行くのに利用される方や富山へ通うのに利用される方もおられると思います。有料の市営駐車場もあり、そちらをできるだけ予約してもらうことや、他の市役所でもありますように駐車場を有料にすることも今後検討していく課題とっております。使い勝手の良い駐車場、回転の良い駐車場について今後検討していく必要があると考えています。

#### B委員

ご説明ありがとうございました。財源については、これからもいろんなところに対して訴え続けていかれるというその姿勢は必要だと思っております。新庁舎は、市民の暮らし、防災観点で拠点になる部分であり、このことについて国が全く知らないという話はおかしいと思っておりますので、しっかりと働きかけをしていっていただきたいと思っております。今制度がないからと諦めるのではなく、ぜひ粘り強くお願いをしたいと思っております。

それから県や国の機関を一部取り込むことによって、新市役所に来れば全ての手続きができるみたいなこと、オンライン機能も含めてやっていくことによって、市単費の負担は軽減できないかとも考えていました。

このアンケートの中にお店というのがありまして、あまり派手なものはどうかと思う反面、そういったところを入れることによって利用料収入を得られるような仕組みを作っていかれるのもいいと思います。

子どもたちが来られるような環境も配慮すべきとアンケートにあったことも、ゼロではないと思います。

とにかく財源の関係についてはしっかりとした対応をお願いしたいのと、適宜市民の皆様説明をいただける場もあればいいと思います。

#### 副市長

財源については現在もいろいろ要望しているところです。これからもいろんな形で要望を進めていきたいと思っております。

#### C委員

そもそもアンケートの順番を間違っただような気がします。建てるという話を出したときに、まず市民の声を聞くべきでした。まず市民の要望を整理し棚卸をしたうえで、この検討委員会は場所を含めてどのようなものを建てていくべきだという方向性を出すべきでした。

320の要望の中でのなるほどと思うようなご意見もたくさん載っています。これはある程度尊重もすべきでしょうし、検討して取捨選択しなければならないのではないかと思います。

#### 副市長

アンケートのタイミングについては、そのような面もあるかとは思いますが、市とすればいずれは新庁舎を建てるという意識がありました。現在のアンケートはどのような庁舎を作ればいいのかということを知っておりまして、今後上がってきた意見を十二分に取り入れて有用な庁舎になるよう努めていきたいと思っております。

#### D委員

市民からアンケートを取ることは非常に重要なことですが、それを取捨選択していくことが必要です。ワンストップでできること、コンパクトであること、デジタル化が重要です。デジタル化のことを要望している市民の方、中学生の方も多いのですが、魚津市は県内どころか全国でもDXがすごく進んでいる市ではないかと私は思っています。DXをバージョンアップしていくことができる市庁舎であるということと、社会福祉関係のワンストップは絶対に必要だと思っております。それと、駐車場に関しては、平日は庁舎を利用される方が利用すべきであって、その他の方の利用はなるべく控えていただくような方策は必要だと思いますし、雪国ですので、野ざらしの駐車場というのはどうなのかという感覚もあります。中学生でもすごく真剣に考えて意見を言っている生徒さんがいるということは素晴らしいと思ってこの報告書を読ませていただきました。以上です。

#### E委員

アンケートの新庁舎に求めるスペース及び機能というところで、飲食店が入ったらいいという意見が、市民、中学生共に多いのですが、飲食店はたくさんあります。他の市町村に比べても駅にたくさん飲食店はあると思います。でも、食堂については、例えば子ども食堂にしたり、お年寄りや貧困世帯が安く利用できる食堂にしたら、健康年齢があがる等色々な社会問題を解決できるのではないかと思います。ここに働いている人の食堂というよりは、市民の食堂にしていただけたらいいと思いました。

私、毎回会議に出るたびにしつこく、本当に大丈夫なのかと質問させていただいているのですが、今回もぜひ質問させていただきたいと思っております。すごい勢いで魚津市の少子化は進んでいます。ということは20年後には納税者が減っていきます。納税者が減り、高齢者はすごい勢いで増え、高齢者の方々はほとんど非課税世帯ではないかと思います。60年前も建てて60年前は大丈夫だったからなんとなくかなるという風に聞こえてしまっていますが、60年前とは全く状況が変わっていますので、何とか必要だから分かってくださいというのは、なんとなく無責任に聞こえてしまいます。私も家を建てましたし、自分のお店も持っていますが、あれもほしいこれもほしい、あのような建物のスペースが必要だから頭金はなくてもお金を貸してくださいと言って銀行はお金を貸してくれません。例えばすごく尖った企業誘致や子育て政策をしていて、少しでも右肩上がりに見込めるのなら可能性を感じるのですが、そのような政策もなく、右肩下がりになっていく状況で、お金をかけて果たして本当に返せるのかというところは今回も問わせていただきたいと思います。

建てることを反対しているわけではなく、もちろん建ててほしいのですが、中身が大事だと思っています。せっかく作るのなら、みんながこのように作っているからというような施設を作るのではなく、コンパクト、デジタル化、全国から視察に来るような次世代の新庁舎を建ててほしいと思います。以上です。

#### 委員長

D委員のご発言、それからE委員のご発言に関係して事務局からお願いできますか。

#### 副市長

財源のお話についてですが、現在、市役所を建設するにあたっての頭金を作っているところですが、市とすれば20億円を頭金にしようということで、令和8年度を目標にやっていますが、少し前倒しできるのではないかと考えております。

20億円貯まったところで建設のタイミングということになりますので、残りは補助金があれば補助金もいただき、併せて借金もするというように進めておまして、将来の皆様にも過度な負担にならないような計画は立てております。国の交付金等もありますので可能であると思っています。

ただ、大規模なものあるいは華美すぎるものについては不要と考えています。皆様おっしゃってられますように、統合されて使い勝手がいい窓口や商業施設をどのように中に入れていくか等、今後検討する課題です。

駐車場等いろんなお話もありましたので、市とすれば市民の皆様にも将来的に過度の負担とならないような施設を建設し、中身については市民の方々が使い勝手が良いものにしていくという努力を続けていきたいと思っています。

最終的に市の一番重要な事項は何かといえば、安全と福祉。この2つが充実している市ではないといけないと考えております。暮らしていく上で安心して安全でやっていける町を目指すのが一番重要なことですが、それ以外にいろんなことも市役所に必要になります。そのような施設をどうすればやっていけるかというのは、今、皆様から頂いたアンケート等もしっかり見ながらその機能を突きつめていきたいと思っています。回答になったか分かりませんが、D委員の分も含めての回答とさせていただきます。

#### 委員長

議題(3)新庁舎整備基本構想骨子(案)で、福祉関係のワンストップ、コンパクト化、デジタル化についても言及されるのではないかと思います。今は議題(1)で、新庁舎整備に関する市民アンケート調査結果の資料2に基づいた説明をしていただきました。

#### C委員

華美な建物等出てますが、今、若い人たちは、環境のことを重視して就職先を見つける人が結構います。政策を打ち出していく優秀な人材を集める意味でも建物というのは重要視

すべきことと思います。有名な建築家が建てる必要はありませんが、そこそこのものが必要ということです。人材を集めるということでも、少し別の観点から重要視した方がいいと思います。今の市役所の各課の書類が山になってるところを見たら、若い人たちは嫌がると思います。そのような観点からも建物設計については十分に考慮すべきです。人材を集める建物であるということも認識に置いた方がいいということを強調したいと思います。以上です。

#### 副市長

若い人たちに是非帰ってきてほしいとお願いしている中、働く場所というのは重要です。市役所もそのような方々に選ばれる職場になりたいと思って努力しているわけですが、現在の市庁舎の中身を見ると、胸を張れるような状況ではないということです。

今後福利厚生をいかにしっかりしていくかということ、例えばお子さんができたような状況でも働き続けられる環境が必要です。制度がしっかりしていないと建物が立派でも休みが取れないのではマッチが難しいと思いますので、休みも取れながら施設もそれなりにある、そのような若い人たちにも好まれるものは必要だと考えております。

ですが、外形にあまりお金をかけすぎて、中身がカスカスということではまずいので、バランスを取りながらやっていきたいと思っております。ぜひ我々も参考にさせていただきたいと思います。

#### F委員

アンケートについてですが、皆様いろんなことを欲しい、重要だと書かれていると思いました。やはり皆様の言われるようにコンパクトなものと考えた時に、何でもかんでも盛り込むと予算の話も出ていきましたが大変なことになりますので、市役所は何をするところなのかとしっかり考え、必要なものを積み上げていき、アンケート結果の取捨選択をしなくてはいけないと思いました。以上です。

#### G委員

市民目線だけで庁舎を作る話をしていますが、やはりこの中で働くのは職員なので、当然職員の働きやすい環境にすることが大事だと思います。

職員の中で魚津市に在住している人は何%いますか。半分いますか。

#### 副市長

半分はいます。基本的には魚津市が中心ですが、滑川、黒部、朝日、入善、富山からも来ておられ、それなりの人数は市外の方もおられると思います。基本的には雇用する際に居住地の制限はできないことになっており、昔は、うちの市にいないとダメということはありませんでしたが、魚津市の場合は30年程前からそのような居住地の制限を取り払っているところです。ですから、意外と遠方からも受験に来られますし、それなりに人の交流は図れているも

のと思います。できるだけ結婚されて家を建てる時は市内で建てましょうという話をしているわけですが、強制はできませんので、職員の自由ということです。そのようなことも含めて市とすればどなたでも働きやすい魚津市役所にしたいということです。

いろいろな市の機能をどのようにするかという話もありましたので、その機能面についてもしっかりと見つめていく必要があると思います。例えばDX等いろいろなものが進んできておりまして、実際の市民の皆様のご感覚と少しずれているところもあるかもしれません。住民票や印鑑証明がコンビニ等で取れるようになっていきます。来年は戸籍も取れるようになります。できるだけ市役所に来なくてもいいような形で非常に進んできていると思います。

ただいろいろな相談事については、窓口で直接話したいという方もおられるので二面作戦をとっています。先ほども申しましたように市民の方が安心、安全で過ごせるように、相談体制も整えていきたいと思っています。そのためにも事務手続きは簡素化、機械化して相談体制を充実するということが今後なっていくと考えております。

#### **G委員**

資料2で、1つの窓口で要件が済まず何箇所も行かねばならない、時間がかかるということがありますが、これを改善することはできますか。

#### **副市長**

今まさにそれを進めようとしているところです。今の市役所の1階のロビーに入られましたら、左側に市民課、右側に税務課、奥の方に社会福祉課、こども課と、皆様に関係のある課が点在しています。例えば転入してこられた場合に、まず市民課で転入届を出します。その後、子どもさんがおられたらこども課で手続きをされます。水道の手続きが必要な場合、向かいにある上下水道局に行かれます。あるいは、子どもの関係で教育委員会に行かれます。いろいろ本当に時間がかかるということで、現在の庁舎では狭くてできませんが、1か所で手続きできる状況にしたいと思っています。

書かない窓口等も進めています。現在はマイナンバーカード等を持っておられる方であれば、名前等を書かなくても職員が要件を聞き取って手続きする形になってきております。いろいろ進んできておりますので、新庁舎が建つ時には、窓口の一本化ができるような形にしたいと思っています。

今、旧上中島小学校や旧松倉小学校を解体中です。旧施設を利用すればという話もありますが、どんどん解体していくような形になってきております。市のDXの状況や公共施設の状況が変わってきている中、この新庁舎の建設ということになっています。そのあたりも十分市民の皆様にお伝えしながら、進めていく必要があると思います。今単に市役所だけ作るという話が前に出ておりますが、その背景にあるいろいろなものも皆様に理解していただいた上で考えていく必要があると思っています。

#### **委員長**

貴重なご意見たくさんありがとうございます。財源については、可能性のあるものを調べて、粘り強い対応を今後も続けていくということ。アンケートについては、意見を十分に取り入れるべきということ、また取捨選択が必要というご意見をいただきました。行政側は安心安全がまず大事ということを書けられました。D委員はワンストップ、コンパクト、デジタル化を指摘されました。次世代の新庁舎を目指すということも指摘していただきました。駐車場のことを始めいろんなご意見がありました。

アンケートに基づいてどのように対応していくのか、皆様方の貴重なご意見を行政側がどう取り入れていくのかということが2番目3番目の議題につながっています。

議題の2番目、新庁舎整備ワークショップの開催につきまして、事務局の方からご説明ください。

#### 【事務局】

資料3について説明。

#### D委員

ワークショップに委員が入り、どのような意見が出てくるのか実際に聞くことが大切だと思います。この中に入って誰かがファシリテーターになるのではなく、傍聴させていただくことはできますか。全員の参加はできないと思いますが、誰か一部でも傍聴できれば、文章で見るよりは良いのではないかと思いますがいかがでしょうか。

#### 事務局

ご希望があれば傍聴は可能ですので、事務局の方にお声がけいただければと思います。

#### H委員

他の資料も密接に関係していますので、残りの資料を一通りご説明いただいてから、ご意見を出していただいた方がいいのではないのでしょうか。

#### 委員長

H委員からまだ説明していない資料4・5・6の説明をしていただけないかという意見がありました。事務局いかがですか。

#### 【事務局】

資料4、資料5及び資料6について説明。

#### 委員長

今年度、来年度で基本構想と基本計画を取りまとめるため見直されたという説明がありました。今後もそのような可能性はあるということが※印で下の方に書かれています。皆様

の意見を的確に取捨選択して可能な限り素晴らしいものを作っていくという発想だと思います。1月頃、基本構想の案を提示されるということです。

皆様方からのご意見、ご質問をお願いします。

#### 【H委員】

資料4の1ページ目の上のタイムフローですが、実施設計が令和7、8年と書かれています。これをもっとスピーディーにできませんか。というのは、基本構想、計画もちろん大切ですが、青写真がないと概念ばかりである意味で雲をつかむような話だと思います。市民の方々及び関係の方々への情報開示やワークショップを含めた意見交換も必要だと思いますが、青写真があれば具体的な議論はさらに内容濃くスピーディーに進むと思います。青写真がないと概念ばかりの話になりますので、実施設計を早めていただきたいと思います。そのような要望が一つです。

#### 【副市長】

H委員からもっと早めることはできないかというご提案をいただきました。コンサルに確認したところ、通常であればこれがそれなりのスケジュールということです。発注方式等これから検討していけば、多少早めることは可能かもしれません。早い段階で青写真が示せれば、皆様ももっと具体的な意見も出しやすいということだと思いますが、1年に短縮するというのはなかなか難しいと思います。

#### 【H委員】

ありがとうございます。この実施設計も、何回も更新していくという前提があるとすれば、スピーディーにできるだろうと思いますし、それこそが行政の改革だと思います。このような大物づくりの時は、年度で区切って準備を進めていくのが一般的だと思いますが、ぜひ殻を破っていただきたいと強く要望します。1年早められなくても半年早める等、いろんな挑戦のしようはあると思いますので、強くお願いと期待を申し上げます。

#### 【副市長】

財源の裏付け等いろいろなものがありますので、あまり急激な進展は難しいのですが、できる限りスピーディーに皆様にお示しできるよう努力していきたいと思います。

#### 【委員長】

スピーディーに努力されるというご回答ですが、私は、基本構想や基本計画がしっかりしていないと青写真が云々という時に拡散しすぎて收拾がつかなくなるという経験があります。行政側が建てられた計画は極めて王道であり、これでやっていかないと皆様が納得する新庁舎の建設にはつながらないと思います。

今でももっと時間をかけたい議論したいという委員の方、たくさんいらっしゃると思い

ます。市民アンケートを集計していただいて、300 以上もの貴重な意見があがってきています。取捨選択はしますが、取り入れられるものは取り入れていきたいという行政側の意見もありますが、ものすごく時間がかかります。今やっている取り組みは、私は極めて真っ当な取り組みで、水をさす気持ちは全くありません。

#### 副市長

慎重かつ大胆にスピーディーに進めるのが一番いいと思います。時間短縮できるところはし、時間をかける必要があるところは逆にかけるということで、スケジュールについてもいろんな意見が噴出した場合には伸ばす等流動的に対応していきたいと思っております。

#### B委員

資料3のワークショップの開催のところにあるスケジュールの中に、パブリックコメントが2回記載されていますが、このパブリックコメントはどのようなやり方を考えておられますか。

#### 事務局（株式会社 建設技術研究所）

基本構想をまずホームページで公表してご意見をいただくというのが1回目、それから基本計画をホームページで公表してご意見をいただき、最終的にフィードバックをしていくということで、2回を予定しております。

#### B委員

どのような手法を予定されていますか。

#### 事務局（株式会社 建設技術研究所）

ホームページの方に素案を作った段階で公表をさせていただいて、そこに対してご意見をいただくというような手法を想定しております。

#### B委員

それは市民の方を対象にしたものですか。ホームページというのは市のホームページだけですか。もっと丁寧に考えられたほうがいいと思います。一般的にパブリックコメントはそのようなやり方が主ですが、丁寧なアンケートも取っておられることもあって、そのようにされた方がいいと私は思います。

それから、先ほどH委員がおっしゃった青写真的なものについては、イメージとしてわかるものが出来れば、議論もより活発化するということはそのとおりだと思います。行政のデジタル化の中には公的個人認証、マイナンバーを使った取り組みを進める動きもありますので、そのようなことを含め行政サービスがどのように変わっていくのかイメージができるものはどんどんネタとして出していただければいいと私は思っております。検討して

結果が削ぎ落とされていく部分があってもいいので、イメージ化できるものは確かにあった方がいいと思います。

一点質問ですが、マイナンバーの魚津市の交付率は何%ですか。

#### 副市長

交付、取得、申請率いろいろありますが、取得は80%、全国的に75%というような状況だと思います。健康保険証と一緒に、免許証も将来的に一本化されるということになると、マイナンバーの使い勝手も非常に重要なものになってきております。

マイナンバーの活用が進むことによって、DX化が進み、いろんな手続きが早くなるということですので、そのようなところも一つの課題という風に思っております。公共施設のあり方や市庁舎以外のいろんな状況の進展についても、ぜひ皆様方に知っていただいた上で、総合的に庁舎はどうしていくかという話になるのが一番いいと思っております。パブリックコメントをする際にも、ホームページだけというような話もありますが、アンケートにもwebを利用していますので、そのようなものも利用しながら進めていきたいと思っております。

#### B委員

アンケートの高齢者の割合は高いのでしょうか。市としてはどのように評価していますか。

#### 事務局

本日説明した資料2の6ページが年齢別ですが、過度な偏りがないバランスのいい年代から回答を得られたと考えています。

#### B委員

80才以上の方もネットで回答されたのですか。

#### 事務局

公民館や庁舎の入り口に調査票を置かせていただいたので、それにご記入いただいた方もいらっしゃるでしょうし、webの方だけではないと思っております。

#### E委員

高校生のワークショップは必要でしょうか。高校生で市役所を利用してる人は、ほとんどいないと思います。結局やりましたというPRでしかなく、中学生のアンケートとあまり変わらない結果になると思います。高校生もするのでしたら、どのような施設があったらいいですかという風に聞いて、それを新庁舎に盛り込むような方法でないとそもそも公募で集まらないと思います。

全然利用しない高校生にワークショップをして、利用する市民は一括りで30名程度で、果たして意味があるのかと思います。市民のワークショップは、例えば20代、30代、40代、50代、60代以上を対象にしたり、事業者を対象にする等もう少し細かくワークショップをしてほしいと思いました。

#### 副市長

聞き方については、もっと高校生の皆様も答えやすい聞き方にしたいと思います。なぜ高校生を対象にするかということ、高校を卒業されると魚津市の場合、都会へ出て行かれる場合もたくさんあります。高校生の時に新庁舎について関わった経験があれば、帰ってきやすくなるのではないかということ踏まえての高校生へのワークショップです。

聞き方あるいは開催の仕方については検討したいと思いますが、基本的にはこのスタイルで進めていきたいと思います。

#### 委員長

目的のところ、新庁舎に必要な機能・サービスや「魚津市らしい」新庁舎の在り方等について高校生、市民から意見をいただくと書かれています。将来の魚津を担う人材の育成にもつながってくるということで、高校生も対象になっていると思います。

#### H委員

基本構想に来年度いっぱいをかけるとことが示されておりますので、このワークショップも正直言ってやっただけみたいな風にしか見えません。高校生をやるのなら、例えば教育委員会に動いてもらい、魚津市内の全部の高校のプログラムに1回入れていただくくらいの意気込みが必要だと思いますし、市民のワークショップということであれば、自治会をお願いをして何十箇所でもやって、より市民参画型の建設準備をしていただくというくらいの、みんなが真剣に討論したというようなプランにしていきたいと思うのですがいかがでしょうか。

#### 副市長

できるだけ多くの方に参加していただける形にしたいと思います。正式なワークショップという形ではなくても、各地域において説明会が必要になる場合もあるかもしれませんし、そのようなものにも積極的に対応していきたいと思っておりますし、是非ご理解をお願いしたいと思います。

#### 委員長

議題の2について、希望する委員はワークショップの傍聴が可能ということ、パブリックコメントの取り扱いは丁寧ということ、行政のデジタル化に関しては、行政サービス等どんどん進化しているので、マイナンバーを例に出されてそのようなことをどのように対応

していくのか指摘していただきました。パブリックコメントやワークショップは基本的にやっただけにならないよう、きちんと成果を出せるようにしてほしいというご意見をいただきました。

3番目の新庁舎整備基本構想骨子(案)について、資料4と資料5が対応しています。こちらについてのご意見もお願いします。

#### C委員

資料5の赤枠と青枠、「移転統合する。」が「移転統合を検討する。」に後退しているように見えますが、外部から意見があったということですか。

#### 副市長

従前の市の公共施設再編方針では統合することが確定していたのですが、デジタル化や人口減少等の社会情勢が変わってきている中で、これから実際に統合した場合いらかかのか、また統合しないでいろんな方法でやった場合にどうなるのか、そのようなものも検討しながら最終的に決めたいということですので、後退したわけではありません。

#### D委員

市民の利便性から考えたら、統合する方が利便性は高まると思います。人口が減りデジタル化が進むと今までと同じスペースは必要ではなくなります。今までの分庁舎にあって必要ではないものを削っていけば、予算を削って統合することは可能ではないかと思います。別々にあるから必要なものはありますけど、統合してしまえば全体的に活用できるものはたくさんあると思いますので。

#### 副市長

全て統合する、又は統合しないということではなく、外にある機能のうち必要な機能は本庁舎に持ってくるということです。例えば、健康センターでの運動や家庭訪問といった機能は本庁になくても可能ではないか等、実際の業務を進めるにあたってどの部分が本庁に必要なのか、そのような検討をしっかりと進めていきたいということです。全て来ない、来るといった問題ではないということをご理解いただきたいと思います。

#### B委員

確認ですが、市の中に新庁舎をテーマにした委員会、例えば各課の職員の方が参加される組織はありますか。

#### 副市長

ワーキンググループと庁内検討委員会があります。

#### **B委員**

日々、原課の方々は、市民の方々の相談を受ける等の対応されています。そういった方々がどのようなことを日々お困りになっておられて、どのような機能を求めておられるかというのも、この会議に市の職員の方の考え方ということで、一度お出しになられてはいかがでしょうか。

#### **副市長**

今十分に聞き取りをしているところです。DX やいろいろなことの発達によって、その分野以外の人でもできるような仕事もこれから出てくるということも考慮しながら進めていきたいと思っております。

#### **B委員**

職員の方が今後どのような形の市民サービスを目指していかれるのか、考え方等についてこの場で共有できれば、より我々としても理解が深まると思いますので、是非お願いします。

#### **委員長**

財源の話がされたときに、健康センター等の公共の施設に関しては、助成金又は補助金が期待できるという話があったと思います。財源のことも考え合わせて、どのような取り組みになっていくのかということに関して、この委員会、市役所内のワーキンググループ、検討委員会等で検討されているということです。

#### **I委員**

統合や見直しも大切なことだと思いますが、先ほどG委員もおっしゃられた人材もすごく大事です。ハードよりハードというか、建物はシンプルに、それよりも中に働く人間の方がとても大事だと思います。雰囲気、人柄、対応など、ちょっと市役所の〇〇さんに相談に行こうかと、自然と行きたくなるような市役所を目指していくべきではないかと今日の委員会で思いました。よろしくお願いします。

#### **副市長**

職員のいろんなスキルあるいは考え方というものについても魚津市にふさわしい職員になってもらえるよう、教育研修等も進めていきたいと思っております。先ほど採用の話も出ておりましたが、福利厚生や労働環境の整備にも努めながら、ぜひハートを持った職員が集まる市役所にしていきたいと思っております。

#### **G委員**

先ほど青写真という話が出ました。この委員会の任期が来年6月で終わると思っておりますが、

それくらいまでには完成予想図を見ることはできますか。

**副市長**

お嫌でなければ、是非その後も継続してやってもらいたいと思っております。多少増えたり、役職で変わるということもあるかもしれませんが、基本的には皆様には是非お願いしたいと思っております。

**G委員**

わかりました。

新庁舎になったら職員の方で防災士の養成を考えていただきたいと思います。私も防災士ですが、職員の方で私が知っている人は一人しかいません。魚津市で67名いますが、若い方に資格を取ってもらえば、いざという時に地区と行政は一体となってやれます。危機管理室は2年か3年で職員は変わっていきます。職員の方も防災士の資格を取得できるようにお願いします。

**副市長**

職員も問題意識を持っていろんな分野に取り組んでおります。おっしゃるように2、3年で異動するので、専門性が磨かれないというところはあります。防災ばかりではなくDXやいろんな分野で変わりが早いので、問題だとは思っております。専門職員を受け入れればいいのかと思っておりますが、この小さい市でなかなか難しい部分もあります。職員がそのようなことに長けるように努めていきたいと思っております。

**委員長**

危機管理室等を中心に防災のガイドラインや魚津市の防災に対する基本的な考え方等公開されていますよね。

**副市長**

公開はしています。防災無線の音が大きすぎる等いろんなご意見があります。ですが、市としては知らせないわけにもいきませんので、危険な時は失敗を恐れず知らせるようにしております。市民の皆様が安心安全に暮らせる市を目指して頑張っていきたいと思っております。

**委員長**

本日の3つある議題について皆様方からご意見等をいただきました。

新庁舎整備だよりの発行について説明していただきましたが、こちらについてもよろしいでしょうか。

本日の次第については、一通り事務局側から説明をいただいて、皆様方から貴重なご意見

等をいただきました。ありがとうございます。予定された案件は終了したということで、事務局側にお返しします。

#### **副市長**

本日は大変お忙しいところお集まりいただきまして、熱心に様々なご意見をいただきましてありがとうございます。市とすれば皆様方の貴重なご意見をしっかりと咀嚼しながら、いかにこの計画に反映していけるかということについて、全力で取り組んでいきたいと思えます。スピーディーかつタイムリーにいろんな事業が進捗できれば良いのですが、その裏には財源等のいろんな問題も絡んでおり、思った通りには参りません。できるだけ市民の皆様にもわかりやすい形で、この新庁舎建設について進めていきたいと思えますので、今後とも皆様方の貴重なご意見、ご提案をお願いするとともに、ご協力をお願いしてご挨拶とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。

#### **事務局**

次回の会議は、来年1月に開催し、基本構想（案）についてご意見をいただくことを想定しております。詳細な日程については別途調整させていただきます。事務局からは以上です。

以上